

ハヶ岳移動教室で心に残ったこと

校長先生は先週の水曜日から金曜日までの三日間、六年生と一緒にハヶ岳移動教室に行ってきました。

六年生は三日間、積極的に様々な活動に取り組んでとても立派でした。今日はその中で校長先生が心に残っていること、たくさんたくさんあるんですが、二つだけお話しすることにします。

◎一つ目は飛行機を上から見たことです。

一日目のことです。みんなで飯盛山という山に登りました。とても急な山道を汗を拭き拭き頑張って登りました。そしてやっとついた山の頂上、全員がそろいました。頂上から見る景色、目の下に広がる景色はすごかったです。牧場が遙か下に見え、牛たちは小さく点のように見えます。さっきまで高くそびえていた山々も同じ目の高さになりました。そのとき飛行機が一機飛んできました。それはなんと六年生よりも下を飛んでいました。飛行機の機体を上から見ているのです。いかに高く登ったかを感じました。飛んでいる飛行機は下から見上げることはよくありますが、上から見おろすというのはまずありません。すごいですね。六年生が一生懸命山に登った結果ですね。辛くても、大変でも、一生懸命に上を目指して頑張れば、必ず普通では経験できないようなよいこともあるんだなあと感じました。

◎二つ目は六年生が食事をたくさん食べてほとんど残さなかったことです。出てきた食事をみんな食べて、最終日の朝の食事は、おかわりも全部食べきって、その上残菜も0（ゼロ）です。宿舎の管理人さんに、「今まで来た小平市の小学校の子供たちの中でこんなによく食べた子供たちは初めてです。すごいですね。」と褒めていただきました。



【食事完食です】

その結果でしょう、六年生は、移動教室の間、いつも元気いっぱい、様々な活動も

意欲的に取り組みました。食べ物をしっかり食べて残さない子供は、いつも前向きに活動し、遊びだって、勉強だって、お掃除だって、何でも積極的にするんだなあって校長先生は思いました。よく食べる子は、活動する力があります。

◎番外編です。

六年生が移動教室に行っている間、六小の一番上の学年は・・・五年生ですね。

五年生が六年生のハヶ岳の移動教室のブログにこのようなことを書きこんでくれました。

「六月二日から、六年生が移動教室にいます。なのでぼくたちがいま、最高学年です。最高学年は、荷がおもいです！でも、低学年の面倒を見るので、六年生は、移動教室を楽しんで来てください！」すてきです。こんな思いをもって五年生は留守番してくれていたのです。小平6小はすごいです。

全校の皆さんも六年生のように食事をしっかり食べ、前向きな思いをもって、みんなでこれからも活動していきましょう。